

J56c Nova V2574 Oph の 多色測光 および 分光観測

田島 由起子 (ちはや星と自然のミュージアム)、定金 晃三 (大阪教育大学)、綾仁 一哉・川端 哲也・川端 善仁 (美星天文台)

2004年4月14日にへびつかい座に発見された新星・V2574Ophについて、その多色測光観測による光度変化を2004年秋季年会にて報告したが、その追観測の結果と、低分散および高分散の分光観測の解析結果について報告する。

多色測光観測から Fast Nova に分類できた V2574Oph には、星間吸収によって赤化されている特徴が見られる。一方、美星天文台で行った低分散分光観測からは、星雲期に入った V2574Oph のスペクトルの特徴が得られ、FeII 型新星の特徴が見られた。また、すばる望遠鏡 HDS による主スペクトル期の高分散分光観測からは、爆発1ヶ月後の輝線の等価幅が 1,600km/s であり、爆発・膨張している V2574Oph のガス雲が二重構造になっている形跡を捉えることができた。